

日本学術会議 公開シンポジウム

第68回歯科基礎医学会学術大会

歯科基礎医学研究から社会実装へ

主催：日本学術会議歯学委員会基礎系歯学分科会、病態系歯学分科会、臨床系歯学分科会
共催：一般社団法人歯科基礎医学会 後援：日本生命科学アカデミー

令和8年9月5日（土） 17:00～18:30

会場：愛知学院大学名城公園キャンパス
（愛知県名古屋市中区名城3丁目1-1）

一般参加無料（事前登録不要）学術大会のその他プログラムへの参加は登録が必要です

歯科基礎医学では、口腔の発生、口腔細菌、口腔免疫、口腔組織再生など様々な領域の基礎的な研究が盛んに行われているが、実用化に至るまでの道のりは長く、社会実装されているものはほんの一部であるのが現状である。

本シンポジウムでは、これからの歯学研究の産学連携及び実用化において重要な方策、予算の獲得、規制等について討論し、今後の歯科基礎医学研究から社会実装までの戦略を展望する。

開会挨拶：樋田 京子（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院歯学研究院教授）

オーバービュー：前川 知樹（日本学術会議連携会員／新潟大学大学院医歯保健学研究科研究教授）

講演 座長：前川 知樹（日本学術会議連携会員／新潟大学大学院医歯保健学研究科研究教授）
古江 美保（日本学術会議連携会員／株式会社セルミック 代表取締役）

『歯科基礎医学を社会の力に：社会実装を加速させる「技術×ビジネス思考」』

古江 美保（日本学術会議連携会員／株式会社セルミック 代表取締役）

『歯科臨床の現場から挑むディープテックの創出』

江草 宏（日本学術会議連携会員／東北大学大学院歯学研究科教授）

『基礎研究の価値と社会への波及』

宿南 知佐（日本学術会議連携会員／広島大学大学院医系科学研究科教授）

『歯科研究領域へのAMEDの貢献を目指して』

浅野 武夫（国立研究開発法人日本医療研究開発機構推進役）

パネルディスカッション 座長：前川 知樹（日本学術会議連携会員／新潟大学大学院医歯保健学研究科研究教授）

閉会挨拶：石丸 直澄（日本学術会議連携会員／東京科学大学大学院医歯学総合研究科教授）

問い合わせ：新潟大学大学院医歯保健学研究科 前川 知樹 E-mail:maekawa-t@dent.niigata-u.ac.jp